

ほっと♥ゆうばり

第28号
2010年
2月1日

編集・発行：ゆうばり再生市民会議 広報部

「夕張市立診療所の現状と未来」のテーマで

1月23日(土) 学習会を開催しました。

前号でご案内した1月～6月まで毎月一回開く、医療と介護に関する学習会の第一弾です。参加しやすい日時設定を考え、土曜日の午後1時半開始としました。お陰さまで40名を超える参加があり、託児コーナーを設けたので子育て中のお母さんたちも来てくれました。ありがとうございました。

ゆうばり市立診療所を運営する医療法人財団「夕張希望の杜」の田谷智所長、須藤義さん(事務担当)、大島達也さん(相談員)の3人が、診療所の現状をそれぞれの立場で説明しました。はじめに須藤さんが、市立総合病院の経営状況、2007年



から08年にかけて公設民営の診療所として運営することになった経緯を説明。

大島さんは、医師不足、看護師不足で疲弊を余儀なく

されていること、高齢化率日本一(44%)の夕張の医療は地

域住民と行政、老健施設等との連携・協働が必要だと訴えた。

休憩をはさみ、会場の席を車座にして田谷所長が講演。

「いままで市民の皆さんのお役に立つため努力してきた。身の丈にあわせ自力でなんとかする、自立の気持ちを広げよう。診療所の現状は難問が山積している。医師体制の現状維持もままならない…」と心情を吐露。「このような学習会や意見交換の場を設け、連携をうまくやればいい方向に行くのではないか」と語った。

質疑応答では参加者市民から、「現在の外来診療や在宅医療は維持できるのか」「初期救急対応の整備を」の声が出され、わが町の医療問題をあらためて認識する2時間半となった。

多忙の中、田谷先生、大島さん、須藤さん、森田先生ありがとうございました。

参加者の声から

- ～訪問診療の種は確実に芽となっている！～
- 高齢者率44%を超えたこの夕張で、市立診療所の訪問診療・24時間訪問看護は重要なものとなってきている。在宅で終末期ケアを行い、住み慣れた町で自分の家で、家族に見守られながら人生を終えることができる“見取り”が行われている。寝たきりで介護度5 胃ろう(口から食物を食べることができなく、胃に管を入れて栄養剤を流す)の方、末期がんの方、102歳の高齢の方、こんな方々を市内90件近く診療している。高齢者がもっと増えていくこの町で、訪問診療の灯りは消してはいけなく強く思う。

★2月12日(金) 6時半から再生会議運営委員会

☆2月20日(土) 1時半から学習会「施設サービスと在宅サービス」

どちらも場所は市民研修センターです

1月21日の行政常任委員会を傍聴して

(1) 市営住宅再編事業について

再生計画の中で、コンパクトな、これからの新しい街づくりが行われて行く。その中で高齢者や子どもに優しい、安心・安全で暮らせる住宅地域の環境が作られる事業が財政再生計画に盛り込まれる。

(2) 医療について

初期救急医療体制整備負担について示された。市立診療所病床確保に係る負担について示された。市立診療所等改築構想(案)概要が示された。透析医療については、市外の医療機関に委ねるが市として現在の通院体制を支援するため負担軽減措置をすることを考えていることがわかった。

(3) 幸せの黄色いハンカチ基金助成では、制度改正し22年度からは多くの団体を助成できるよう配慮。これまでの助成金の上限を30万円から20万円とし5万円以下の申請事業は書類のみの審査とした。議員から、継続事業と新規事業との間で審査に差が生じないように審査項目に配慮が必要とあった。

○ 私見と感想 ○

テレビ報道関係者が多かった。

再生計画の期間についての質問が続いたが議員からの熱い意見・質問がもつとほしいところ。

新しい計画案が、夕張市民自ら悩み、考え、作り上げたものとするよう、議員の皆様が市民の先頭に立つことを期待しています。(S記)

第24回運営委員会の報告(1月15日開催)

* 学童保育を新学期から利用したいが、現在の開設時間帯では、仕事に支障がでるため、退職も検討している。何とか良い知恵はないかと相談がありました。

→(後日、担当部署に確認したところ、新学期からの開設時間の延長について検討中であると説明をいただきました。)

* 総務省(消防庁)で1/12に開催された「災害時要援護者の避難対策に関する検討会」で「命のバトン」が事例紹介されました。また、「命のバトン」の紙芝居を清水町、埼玉県などに貸し出しをしています。(日光市、境港市、羅臼町、厚岸町、長沼町にも貸し出しました。)

* 学習会は、テーマを「夕張の医療から市立診療所への道」「シリーズ 夕張の医療と介護を学ぶ」として計6回を計画。

1月～6月まで毎月土曜日の開催を計画。

1/23の学習会で何を知りたいのか? 出しました。

- ・公設民営とは? ・市民の望む医療と診療所の方針 ・頼れる医療機関とは?
- ・現状の赤字の理由 ・医療者が定着しないのはなぜか?
- ・なぜ病床を維持すると赤字になるのか? ・救急医療がない不安...

1回目は表を見てね

第2回目学習会を2/20(土)13:30～15:30市民研修センターで開催

「施設サービスと在宅サービスとは？」

清光園の鳴海施設長、虹ヶ丘の吉本さんを招いて開催します。

是非、ご参加ください。

* 住民説明会について

- ・参加の呼びかけをしましょう。 ・いろんな報道あるけれど実際はどうなの?
- ・意義のある説明会にしたいものですね...

★ 皆様も運営委員会に参加しながらいろいろとお話しませんか?
次回は、2月12日(金)18時から市民研修センターで開催です。